

令和4年度 ちゃぶ台次世代コーホート（第3回研修会）開催要項
令和4年度 同 Advanced Course（第8回研修会）開催要項

- 1 趣 旨 教職志望学生と若手教員等が、教員としての資質の深化、教職実践課題の解決力や省察力の醸成を図ることを目指した協働型教職研修を行う。特にコミュニケーション能力の育成と学校づくりに視点をあてたワークショップやピア・サポートをとおして、教員としての力量形成や教育指導の拡充を図る。
- 2 主 催 山口大学教育学部、山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻
独立行政法人教職員支援機構山口大学センター
- 3 共 催 山口県教育委員会、山口市教育委員会
- 4 開催日時 令和4年12月24日（土） 13:00～16:30
- 5 開催場所 公立学校共済組合山口宿泊所「セントコア山口」（2階 サファイアホール）
〒753-005 山口市湯田温泉 3-2-7 Tel:083-922-0811
- 6 参加者 教職志望学生、若手・中堅教員、教育関係者、大学教職員等
- 7 研修内容
 - (1) 開会行事
あいさつ 山口大学教育学部 学部長 鷹岡 亮
諸連絡 研修プログラム概要説明、諸連絡
 - (2) ちゃぶ台ワーク
テーマ 「自分が大切にしていることば・今年ぐっときた言葉について紹介し合おう」
 - (3) 講演
テーマ 「ことばのことばっかり」
講 師 アナウンサー（フリー：KRY 山口放送） 瀬川 嘉 さん
 - (4) 閉会行事
講評 山口県教育庁教職員課 管理主事 谷本 尚 弥
あいさつ 教職員支援機構山口大学センター センター長 和泉 研 二
- 8 新型コロナウイルス感染防止対策
 - (1) 本研修の実施においては、主催者として、「参加者の制限」、「入退場管理」、「会場の換気」、「参加者の健康観察とトレース」等を行い、感染予防に万全を期す。
- 9 その他
 - (1) 本研修事業は、山口大学教育学部「ちゃぶ台研修部」事業経費、独立行政法人教職員支援機構 地域センター（山口大学センター）事業経費により運営される。



NITSカフェ 第2弾! NITSカフェ in くだまつ を開催!

Café (ピア・サポート) に、レベル高い講義演習に、まさに「充実の秋」



さあ、本年度の第2回「NITS カフェ」です。今回は下松市のど真ん中「スターピアくだまつ」での開催。教職大学院プレゼンツで、広島・山口の現職教員、教育委員会関係者、大学の教職員に地元下松市の教育支援センターや関係機関・団体の皆さんも加わって、賑やかで和やかな「Café」が展開されました。

午前は若手・中堅教員を励ます、相互に励ます・励まされるピア・サポート交流会、昼食を挟んで午後は不登校とコーチングに関する質の高い講義演習と、カジュアルながら、それはそれは豊かな研修会。

41人(教員19、教委関係者7、教育関係者6、大学教職員等9)による終日研修の概要を報告しましょう。



開会行事

まずは、主催者の教職大学院、佐々木司専攻長から、「NITS カフェ」の歩み、意義、成果や下松市教委さんへの謝辞を盛り込んだ挨拶がありました。

続いて、下松市の玉川良雄教育長さんから、教職員の資質向上への願いと「NITS カフェ」への熱い期待に加えて、下松市の教育トピックスとして、市内「天王森古墳」から出土し復元された「大刀形埴輪」や西日本有数の「形象埴輪群」が紹介され、ヤマト王権と関わりのあった下松市の文化遺産や歴史の学びにもつながりました。玉川教育長さん、この日は「市美展」や「吹奏楽コンサート」等目白押しでしたが、ご来場ありがとうございました。



Café「教職員の学びと育ちを支える!~私のリアル教職生活!若手・中堅を励ますピア・サポート交流会~」

子どもたちにとって最大の教育環境は先生たち。先生たちがいつも元気ハツラツ、嬉しそうに楽しそうに、教え、話し、遊んでくれることこそ「子どもたちの元気の源」。今回の「Café」は、そんな想いをこめて、教職生活の開示、ロールプレイ、経験交流やシェアリングを行いました。校種別の「お題」をもとに白熱の名(迷)演技。さすが役者揃いの「ちゃぶ台」...お見事!でした。



参加者のコメントから

ピア・サポートは、「自分で問題解決すること」を側面から援助する行為である等、基本的内容を確認した後、ロールプレイ、リフレクションを実施しました。ロールプレイでは、相談する役、相談を受ける役、観察役、進行役の役割を担当したことで、相談場面の様子を複数の視点で考えることができました。教職員同士での相談においては、リフレクションも含めて、以下のことが大切と考えました。①相談する人の困っている、不安に思っている点を共感的に受容する等、話を十分に聞くこと。②エピソードに出てくる教職員は、一緒に働く教職員であることが多いため、誰かを批判する内容にならぬよう配慮が必要であること。相談の内容によっては、他の教職員や管理職と一緒に対応しないといけない場合があること。③相談する人が、自分自身で解決策を選択できるようにすることや継続してサポートし合う(支え合う)関係づくりが重要であること。ありがとうございました。(中学校)

「NITS カフェ」の良いところの一つは、さまざまな地域で開催することで、その地域の先生方とつながれることだと思います。今回もグループワークを通して下松の先生方とつながれたことは貴重な時間となりました。

今回の悩み相談をロールプレイするというのは大変面白かったです。私は相談する役をさせていただきましたが、相手方の先生のさりげない一言を嬉しく、こんな言い方はとても優しく感じるなという気づきが多くありました。振り返りでは、相談しやすそうな先輩の話で盛り上がりました。



忙しい、ピリピリしている人には誰も相談しません。私自身、話しかけやすい雰囲気づくりを心掛けたいと思います。(中学校)



先日の研修では大変お世話になりました。午前中の「NITS カフェ(ちゃぶ台ワーク)」では、学校内のリアルな事案について具体的に話すことができ、大変参考になりました。私も若い先生が行き詰まり、涙している場面を何度か見たことがあります。学校外で話せる場を作ると、元気を取り戻されたこともあり、やはり人間は、コミュニティの中に「安心して話せる仲間、場が必要」だと感じました。それは自分の特性から生きづらさを感じている大人にも言えることだと思います。自分を認めてもらえる場所が沢山あり、それが繋がっていったら本当に素敵だなと思います。子どもの世界は、大人の世界の縮図だと感じています。いろんな価値観を認め合う大人の世界が、最終的には子どもの世界にも伝染していくのかなと想像しました。(下松市教育支援センター)

講評 教育庁教職員課の吉川和夫主査さんから「まとめ、講評」をいただきました!

参加者のコメントから

吉川先生の指導助言では「ワーク・エンゲージメント」の紹

介がありました。認めるとは「見て」「留める」ことであり、「あなたのことを見ていますよ」という感覚が、相手の安心感と承認欲求を満たすとのこと。日本人は相手を認め褒めること、あるいは相手から認められ褒められることが苦手と言われていますが、前回と今回の学びを通じて、発する言葉を変えていきたいと思いました。(高校)



講演 「教育活動に活かすコーチングを学ぶ ~不登校等の問題解決の糸口を探すために~」

午後は、ナラティブコミュニケーション教育研究所の所長さんで、別府大学の佐藤敬子先生のご講演。NITS 中央研修講師、文部科学省各種会議委員や全国各地でのご講演、指導等で引っ張りだこの佐藤先生。本当にお忙しい中を「弾丸!日帰り講演!」に来て頂きました。

まさに「さすがの佐藤先生!」です。軽快なテンポ、ユーモア溢れる語り口、会場内との軽妙なやり取りの中でのご講義は、最新、実践的、広い、深い、引き込まれる、あっという間の3時間でした。子どもたち、保護者、教職員や幅広い教育関係者の「真の想い」にアプローチしようとなさる佐藤先生ご自身が、参加者には「大きな刺激」かつ「激励メッセージ」となりました。



参加者のコメントから

最初に感じたことは、とても明るく活力ある先生で、園にもこんな先生がいたら、子どもも保護者も先生方も嬉しいだろうということ。「明るい」という感覚を育てるには、「自己肯定感」や「コミュニケーションスキル」等、様々な要素を磨いていく必要があるが、一番重要なのは「愛情」であろうと思う。園でも、しっかりと愛情を伝えていかなければと改めて感じた。

カウンセリングやコーチングで重要なのは、「答えは相手の中にある」という認識であり、そのために必要なことが、褒めるより「認める」という技術であった。「あなたが変わった。だから、私たちは嬉しい。」言葉で短く残すところなるが、これは何度も意識的に取り組むことができるように、思い返しやすくしておく必要がある。「認める」象徴としての「パン」。「日頃から手持ちのパンを貯めておきましょう。」というメッセージ。ひょっとして、あのパンを削ると午前中の「希望のパン粉」が生まれやしないかと感じた。つまり、希望のパン粉の先生を育てるには、感謝や期待といった「あなたの存在を認める言葉」から育っていくのかもしれない。(幼稚園)





今年度久しぶりに中学校から小学校の勤務となり、小学校でも不登校の児童が多くいることにびっくりし、そして、何かしなければ・・・とずっともやもや考えていた半年でした。SC につないだり、ミニ会議を行ったり、保健室に登校しやすい環境づくりをしたり、もう手は尽くしたと思っていましたが、佐藤先生のお話をきいて、こんなにシンプルで、成果が期待できることを、私はきちんとやっていたんだと反省させられました。コーチングという言葉は知っていて、本も1冊ほど読んだことがありましたが、知っていた気になっていただけでした。

その子が自分から、自分の道を選択し、進んでいけるようにサポートする。その力をつけるには、子どもに日ごろから「小さな〇」を付けてやる、「パンではさんで」やる。そのためには常日頃から「パンを用意しておく」こと。子どもに「愛情と関心をもって、みつめている」こと。児童理解の根幹であるこのことをすっとばしていたような気がします。明日からの学校は、「あいさつ+1」で、出会いがしらのコーチングを実践してみようと思います。ありがとうございました。(小学校、養護教諭)



あっという間の時間で、もっとお聞きしたいと思いました。

佐藤先生が言われたことで印象に残っていることは、「学校はなくてもいいと思ったら負け」ということです。不登校の子どもたちの支援として、佐藤先生が自信をもって「100%学校に復帰できる」と言われた時、これまで「個に応じた支援」ということで学校に来なくてもいいという選択肢に自分自身が頼り過ぎていたのではないかと反省しました。勿論、その選択肢は否定できないですし、どこでも教育が受けられるように公的支援を充実させるべきだと思います。しかし、人は社会の中で揉まれて人となります。やはり子どもにとって「学校」という存在はとても重要だと改めて気付かされました。

そのためには、「引き上げるタイミング」と「押し上げるタイミング」を見誤らないようにしなければいけません。いかに多くの人で子どもに関わり、子どものために知恵がしぼれるかが大切であり、学校を中心として関係機関や地域などとの途切れることのない連携も重要です。たくさんのスキルも教えていただきました。「あいさつ+コミュニケーション」は、学校だけでなく日常的に地域ぐるみでできるようになれば素敵だと思います。(教委)

教職員の学びと育ちを支える！子ども理解と関わり力をつける！

NITSカフェ in くだまつ



2022.11.5 @ スターシア くだまつ
山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻
山口県教育委員会、下松市教育委員会
独立行政法人教職員支援機構山口大学センター

下松市開催に関するコメント(一部)

今回、下松市教委の方ともワークを通じてお話ができました。正直、少し苦手意識があったのですが、ワークを通じて、その方の別の一面が見えたりして、自分の気持ちが変わりました。1対1だと話せなくても、数人で話すワークだと話せたり、相手との心の距離が少し縮まったり(勝手に)、とても有意義な時間を頂きました。研修にお誘いいただき本当に感謝しております。今後も精進してまいります。これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。(教育支援センター)

不登校や教職員同士のピア・サポートに関する研修など、下松市が課題としている内容についての研修会を、下松市で開催していただき、ありがとうございました。学校の先生方、養護教諭や教育支援センターの方々と一緒に研修を受けられたことが、大変意義あるものと考えています。(中学校)



下松市教委の教育長さんをはじめ、課長さん、指導主事さん、市内の諸先生方にもご参加いただき、学びが広がったことがよかったですと感じました。(大学)

やはり各地を廻るのは魅力的です。後は参加者が増えると良いですね。(高校)

閉会行事

最後に、NITS 山口大学センターの和泉研二センター長が謝辞および閉会挨拶を行いました。

「NITS カフェ in くだまつ」も盛会のうちに終了しました。参加者の皆さん、下松市や近隣地域からご参加の先生方、山口県・下松市教育委員会事務局の皆さま、そして私たち参加者の教員としての力量を高め、元気になってくださった佐藤先生に感謝いたします。



7/11より
令和4年度登録開始

「コーホート」とは？
「志を同じくする
同世代の仲間たち」
という意味

ちやぶ台次世代 コーホート

若手（20代～30代前半）現職教員（幼小中高特養栄）と
教職志望学生たちが共に学び、楽しみ、創る協働型研修プログラム



「教職」でつながる仲間が、お互いの教育実践や教育に対する思いを、ある時は不安や悩みを、先輩教員、保護者、教育委員会担当者、教育関係者等と共有し、励まし合い、支え合いながら、ある時はワイワイ騒ぎしながら楽しんで歩く。そんな学びと歩みをご一緒しませんか？

～講義演習やワークショップ、協議で学びましょう～

日程・内容・開催場所（予定）

申込（メールで）

- 第1回 10月15日（土）13:00～17:00
@山口市「KDDI維新ホール」
令和時代の学校づくりとコミュニケーション能力
講師 教育実践研究家 菊池道場主 菊池省三
- 第2回 11月5日（土）13:00～17:00
@山口大学教育学部
教師のためのアンガーマネジメント
講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
アンガーマネジメントインストラクター 山根美代子
- 第3回 12月24日（土）13:00～16:30
@山口市「セントコア山口」
教員としてのことば、表現と基本スキル
講師 アナウンサー（KRY山口放送） 瀬川 嘉
- 第4回 2月11日（土）13:00～17:00
@山口大学教育学部
会員、ゲストプレゼンターの実践発表、研究発表と交流
講師 会員、やまぐち総合教育支援センター長期研修教員等
- 第5回 3月18日（土）13:00～17:00
@山口市「セントコア山口」
人権尊重と共生社会の創造、ネットいじめ
講師 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄
若手教員たちへの期待
講師 周南公立大学経済学部 准教授 大坂 遊

- 件名は、「ちやぶ台次世代コーホート登録申込」とし、
- 本文に、
 - ・所属
教員は学校名・職名、
学生は大学名・学部・コース・選修・学年・希望校種
 - ・氏名
 - ・〒番号、住所、電話番号（連絡が付きやすいもの）、
 - ・Eメールアドレスを書き込み、
事務局のメールアドレスに送って下さい。

<注意>

- *山口大学の学生は大学から割り当てられたアドレスを登録してください。
- *事務局からのメールが受信できるように設定してください。
- *データ受信の容量の関係で、携帯電話のアドレスに届かない場合がありますので、登録アドレスにご留意ください。

コロナ禍ですので、
会場や実施形態は
その時の状況に応じて、
決定します。

事務局：教育学部：藤上 真弓（ふじかみまゆみ） fujikami@yamaguchi-u.ac.jp
質問は、「藤上研究室（教育学部A棟205号室 083-933-5399）」へ

*備考 系統的研修計画によるため、原則的には「継続参加」とします。



2022年度「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」実施要項

1. 趣旨

自立・向上・充実期にある若手・中堅教員（概ね教員経験3年以上）が、学校や地域の教育諸課題の解決に向けた教職実践と省察、課題研修やピア・サポート等を行うことにより、ミドル・スクールリーダーとしての資質能力の向上を図るとともに、教職実践課題の解決力や省察力の醸成を図る。

2. 主催 国立大学法人山口大学（教職大学院・教育学部）

3. 共催 山口県教育委員会、(独)教職員支援機構山口大学センター

4. 主管 国立大学法人山口大学（教職大学院）

5. 「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」の日程、内容、主たるテーマ、場所（予定）

第1回 令和4年6月25日（土） 13:00～17:00

@山口大学

山口県教育の現在地、教育政策・施策の実際

講師 山口県教育庁教育政策課 班長 今田隆之
山口県教育庁教職員課 主査 松嶋 渉



第2回 令和4年8月27日（土） 10:00～12:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

教職員のキャリア形成と成長契機（ワークショップ）

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子

※会場・開催時間変更
12:30～17:10 オンライン研修

第3回 令和4年8月27日（土） 13:00～17:00

@山陽小野田市「不二輸送機ホール」

教職員研修の活性化と学校づくり

講師 広島県立呉三津田高等学校 校長 山田哲也
北海道小樽市立朝里中学校 校長 森万喜子



第4回 令和4年10月15日（土） 9:30～12:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

大学・組織経営をふまえた教育界への期待

講師 和歌山大学 第15代学長、大阪観光大学 理事長 山本健慈

第5回 令和4年10月15日（土） 13:00～17:00

@山口市「KDDI 維新ホール」

令和時代の学校づくりとコミュニケーション能力

講師 教育実践研究家 菊池道場主 菊池省三



第6回 令和4年11月5日（土） 10:00～12:00

@下松市「スターピアくだまつ」

若手教員の学びと育ち、人材育成とピア・サポート（ワークショップ）

講師 山口県教育庁教職員課 管理主事 武居輝記

第7回 令和4年11月5日（土） 13:00～17:00

@下松市「スターピアくだまつ」

不登校、生徒指導上の諸課題とコーチングスキル

講師 ナラティブコミュニケーション研究所 所長 佐藤敬子

第8回 令和4年12月24日(土) 13:00~16:30
@山口市「セントコア山口」
教員としてのことば、表現と基本スキル
講師 アナウンサー(KRY山口放送) 瀬川 嘉



第9回 令和5年2月11日(土) 13:00~17:00
@山口大学
会員相互、ゲストプレゼンターの実践発表、研究発表と交流
講師 会員相互、やまぐち総合教育支援センター長期研修教員等

第10回 令和5年3月18日(土) 13:00~17:00
@山口市「セントコア山口」
人権尊重と共生社会の創造、ネットいじめ、LGBTQ
講師 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 竹内和雄
宝塚大学看護学部 教授 日高庸晴



特設研 令和5年3月18日(土) 10:00~12:00
@山口市「セントコア山口」
1年間の振り返り

6. 実施方法並びに実施会場(予定)

(1) 集合・対面型(山口大学、学外会場)に限らず、新型コロナウイルス感染状況等に応じて、オンライン研修型(Zoom、Webex等を用いた同時双方向通信)研修を導入することがある。

7. 受講者

(1) 受講資格

小・中・義務教育・高等・中等教育学校及び特別(総合)支援学校教諭等で、教職経験が概ね3年以上の者(20代後半から40代教員を想定)、県・市町村教育委員会事務局に勤務する者、教職大学院生等

(2) 受講申込

受講希望者は、プログラム事務局(m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp)宛に申し込む。

(3) 受講者決定

プログラム事務局において決定し通知する。研修プログラムの標準定員(60人)を超過した場合は、受講者数を調整することがある。

8. 新型コロナ感染予防

集合・対面型研修として実施する場合、プログラム事務局として、感染予防等に以下の体制をとる。
参加者の制限、入退場管理、会場の換気、参加者の健康観察とトレース等

9. その他

(1) 本プログラムは、学校や教育委員会との連携・協働による「連続・積み上げ型研修」であり、受講生相互や関係者との自己開示、協働的関わり、ネットワーク形成をとおした連带的、主体的な成長を目指すものであることから、研修行事を優先(受講生による日程・用務調整)する姿勢を基本とする。

(2) プログラム事務局の連絡先は次のとおりとする。

「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」事務局

〒753-8513 山口県山口市大字吉田1677-1

山口大学大学院教育学研究科・教育学部・NITS 山口大学センター

TEL&FAX 083-933-5458 E-mail m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp (霜川)

霜川、藤上、足立、大丸、岡田を主担当として、15人のスタッフチームで運営します!